



昭和50年

広報

あくね

と
翔
べ
世
界
へ

阿
久
根
の
子

新年号

若者が定住するまちづくりを

年頭のあいさつ

阿久根市長 川 畑 強



市政推進について協議する 川辺収入役、川畑市長、新橋助役、池田教育長

市民の皆様、明けましておめでとございます。

皆様方それぞれに、新しい年への期待と希望をもって、昭和五十七年の輝かしい新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。心から幸せをお祈り申し上げます。

昨年は市政推進に對しまして、皆様方の心からのご協力を賜わり誠に有難うございました。

國の内外共に、きわめて多事多難の年で、今年こそはと期待された景気も思うように回復に至らず、厳しい不況の風にさらされて参りました。

幸いに台風等による大きな災害もなく、豊かな実りの秋を迎える事ができました事は、何よりの喜びであります。

私は、市政の推進にあたって、市民所得の向上と、人口の増加という事を主眼に、市民の生活向上のためにはどうすべきであろうか、とこのことを片時も忘れることな

く真剣に考え、若者が定住できる、住民に魅力のある、活力ある郷土づくりについて、産業の振興を始め、環境の整備、教育、文化の向上等住民福祉の増進に、皆様方の温かいご理解と、ご協力をいただきながら、積極的に取り組んで参りました。

本年はご承知のとおり、国政において「行政改革、国も地方も待ったなし」を合言葉に、行政改革が進められようといましており、また、増収なき財政再建を目指して、国家予算を前年度並に抑制するといふ、いわゆるゼロシーリングに象徴されるように、国家財政は昨年以上に厳しさを増すものと考えられます。

今後現実に行政が進められる中では、私共地方自治体にもいろいろの面から影響があるものと考え、きわめて厳しい状況が予想されるところであります。収入の確保を図り、経費の節減に努め、健全

な財政運営を基本に、市民福祉の向上を最優先に、市民サービス、行政水準を低下させることのないよう、積極的に諸施策を推進し、この厳しい難局を克服して参らななければならぬと、決意を新たにいたしております。

特に本年は、市制施行三十周年という輝かしい年であります。戦後のあの混乱と欠乏の時代を乗り越え、今日のこの繁栄をもたらしたものは、市民皆様方の英知と、たゆみない努力の賜にほからりません。

私は先人、先輩のこの偉業の足跡に思いをいたし、この尊い歴史を大切に守り、郷土の特性を生かし、更に市勢の浮揚発展のため、渾身の努力を傾けて参りたいと存じます。早いもので、私が市政をお預かりして三年が過ぎました。私は、市政推進にあたっての基本的考え方として、「陸と海の調和のとれた活力ある郷土、阿久根市をつくりたい」、この初心を忘れることなく、常に市民の皆様方との対話を通じ、心のふれあいを求めながら、計画構想の一つひとつを着実に実施し、市民の皆様のお託しに答えて参る所存であります。市政推進に對しまして、皆様方の一層の御理解と、御協力を賜わりますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



整備される大川中学校運動場

大川運動場整備費も計上

第四回
定例市議会

一般会計七十六億円に

第四回定例市議会は、十二月七日から二十五日までの十九日間の会期で開かれ、認定二件、同意二件、議案十一件が原案どおり可決されました。
このなかで、一般会計補正予算に二億一千二百八十四万七千円を追加し、予算総額を七十六億六千二百三十二万円としました。

認定一件は、昭和五十五年度阿久根市の歳入歳出決算の認定でした。同意二件は、任期満了に伴う公平委員会の委員に松元登三氏（六一）を再任することに同意するものと、人権擁護委員に引き続き寺地伊佐夫氏（六一）を推せん

すること同意したものです。

議案十一件は、さる七月阿久根小学校での遊具倒壊による児童の死亡事故の損害賠償額を二千五百万円として議会に示し、議会の議決を求めたもので、このうち一千二百万円は学校安全会から支出さ

れます。

土地改良事業の土砂崩壊防止事業として市内臨本瀬之浦上の水絡事業の議決を求めたもの。また、臨本漁港の改良工事に伴う公有水

エノキ 生産団地造成にも補助

予算のうち歳出の主なものでは、身体障害者の方々へ支給する車イスや杖などの補装具扶助不足分など五百九十八万円、折口に建設される晩晴貯蔵施設建設補助として二百五十万円、鶴川内に建設されるエノキダケ生産団地造成補助金として六千二百五十万円も予算化しました。

市道山下弓木野線改良工事費などに七百八十八万円、大丸五十五号

面埋立てについて議会の議決を求めたもののほか、阿久根市職員の恩給条例の一部や、給与条例の一部を改正する議案、一般会計補正予算、国民健康保険特別会計補正予算など特別会計の補正予算も審議されました。

このなかで、一般会計補正予算に二億一千二百八十四万七千円が追加され、予算総額を七十六億六千二百三十二万円としました。

線などの側溝改良、市道の修繕費などに五百万円。
教育関係では、阿久根小学校での児童死亡事故に一千三百万円、大川中学校の運動場整備費として五百五十六万円を計上しました。
このほか、給与改定に伴う市職員給与費が主なものでした。
また、各特別会計補正予算も提出、審議されそれぞれ原案通り可決されました。

20歳になったら

国民年金に

加入しましょう

成人式を迎えられた皆さん、おめでとうございます。二十歳になると多くの権利と義務が生じます。国民年金への加入もその一つ

です。厚生年金など職場の公的年金に加入していない方々、たとえば農業、漁業で働いている人やその家族で二十歳以上六十歳未満の方はすべて加入しなければなりません。
詳しくは、市の国民年金係までおたずねください。

誕生 おめでとう

出生児	保護者	部落名
池田 裕美	照雄	(上野)
山崎舞由可	文明	(上野)
鶴木 詩織	正明	(波留)
小原 市子	重吉	(波留)
樋口 淳也	憲一	(上野)
牛之濱直美	坂見	(牛之濱)
下園 弘達	満	(尻無下)
永井野由紀	千年	(高之口)
中村 涼	秀人	(大丸)
西園 正喜	力	(落)
濱崎 里香	廣海	(高之口)
梶 拓也	友和	(梶)
鮫島 健一	三男	(湯)
岩塚あゆ美	上	(柙)
岩崎美奈子	義明	(大川島)
吉野 幸至	貞人	(遠矢)
小屋 淳子	明弘	(上原)
梅田 泰宏	裕一郎	(湯)
京田 隼平	博文	(瀬之上)
小村 由加	勉	(瀬之上)

阿久根市の人口

住民基本台帳人口と世帯数		(1月1日 現在)	
人口	30,257	(+10)	
男	14,134	(+4)	
女	16,123	(+6)	
世帯数	9,579	(+2)	

誘致を

座談会

市民所得の増収に 積極的に努力



左から中面さん、末吉さん、馬見新さん、寺地りつ子さん、寺地正末さん、川畑市長、佐潟さん、恒吉さん、中村さん、川畑総務課長

末雄人	一春雄	税子	強平
正信	幸修	年孝	主り
文	川畑	地畑	畑
席	寺末	中馬	見新
出	恒佐	中寺	川川
業	員	業	業
社	員	業	業
商	農	商	農
農	会	商	農
会	農	農	農
商	農	農	農
農	農	農	農
自	主	自	主
主	自	自	主
阿久根市長	川畑	川畑	川畑
司	長	長	長
(総務課長)	(総務課長)	(総務課長)	(総務課長)

昭和五十七年を迎えました。阿久根市は今年、市制施行三十周年の輝かしい年になります。そこで市制発足と同じく生まれ人生を歩んでこられた八人の若者に集まっていたいただき、市長を囲んで意見、要望、夢を大いに語っていただきました。

司会 皆さん、明けましておめでとございませう。それぞれに希望に輝くよいお年をお迎えになったことと思います。

本年は阿久根市にとりまして、市制施行三十周年という大きな節目の年を迎えておりますが、広報あくねの恒例の「市長を囲んでの新春座談会」もその意義にちなんで、阿久根市が市制を施行した年

にお生れになった方々にお集りいただき、ふるさと阿久根を見直し、将来への展望などについてのご意見を聞きたいと思います。

中国の孔子が「三十にして立つ」と申しておりますが、皆さま方も阿久根市も飛躍発展の年にしたいものであります。皆さんの若い活力のある希望に満ちたご意見をどしどし発言願います。

それでは、まず、市長から阿久根市の現状と方針などについて話していただきます。

市長 市政の推進につきましましては皆様方のご協力により、概ね順調に進んでいると考えております。

皆さん方も、この世に生を受けてから三十年を迎え、また阿久根市も市制を施行してから三十年という大事な時期を迎え、今後大きく伸びていかなければならない出発点にきているのじやなからうかと思っております。

そういう意味におきまして、私どもも阿久根市が発展するための施策をいろいろ考え、その実現へ向けて事業を進めているわけでありますが、その根本はやはり財源であろうかと思えます。今の阿久根市の状況を見ても、一般会計では約七十六億を超える規模になりましたが、その内容は自主財源に乏しいのが現状でございます。しかし、私どもは、乏しい財源の中から市民のために、小さな経費で大きな効果があるような施策をしなければなりません。

それにはやはり、阿久根の特性を生かした産業の振興を図る必要があると考えております。

市の発展を考えると、私どもが一番にやらなければならないのはやはり人口増対策、所得増対策だと思えます。年々阿久根市も人口が減っております。人口を増やす施策を考える必要があると考えますが、それにはまず、阿久根市に新しい企業を誘致して、働く職場をふやすこと、このことが効果的なことですので、今の日

人口対策に企業

市長を囲んでの新春

ように港が同じぐらいの意味にして大事じゃなかろうか。と、こういうことで市内の港湾の整備も順調に進んでおり、今年から阿久根沖への大型人工島の設置も始まり



川畑市長

ました。また、子供たちの教育も大事なことでありますので、学校の整備

も積極的にやっております。このほか、水の問題も大切であります。昨年は多田地区をはじめ、深田、大淵川にも水道が敷かれました。

これによって九八宮という水道普及率に達しました。このように私も阿久根の特性は何かというのを見いだしながら、行政を進めているわけでありまして、本日はそういう意味で、若い皆様方のご意見なり、市政全般の事などとしてお聞かせいただきたいと思

トランプが走っているんですね。それで友人が出身地を聞くとあの有名な水産地か？というんです。ですから港を前面に出してもっと阿久根を売ってもらいたいですね。



佐瀬孝雄さん

佐瀬 それと、阿久根の観光ですね。阿久根大島みたいな環境の

一番美しいといえますね。私は阿久根の海岸線が日本で一番美しいきれいな海岸だと思っています。私はそれだけにPRが不足していると思っていますね。

市長 たしかにアピールも必要です。また、今後の観光を考えるとき、一点だけの観光だけでは若者が希望する若者が集まる観光になりうるのか。やはり、そういうことを考えると点だけの観光だけではなかなか効果が薄いんじゃないか。やはり、これをもう一歩進めて、阿久根にきたら何を若者は見、何を考え、もう一度阿久根に行きたいという気持ちを起こさせるにはどうあるべきなのか。観光は心を売らなければならないが、これらを若々々と話し合っていくかなければならないんじゃないかと思

阿久根大島、シカ、ボンタンを広くPRを

司会 市長から市政の現状、方向などについて説明がありました。皆さん方はそれぞれの職業をお持ちであり、それぞれの地域の代表者でもありますので、仕事を通じての、また、市全般の問題も含めてご意見をお聞かせください。それではまず、佐瀬さんからどうぞ。

佐瀬 今、市長から市政全般のお話を伺いましたが、私が思っていますのは、もつと阿久根をアピールする必要があると思うんです。阿久根には大島があり鹿もい

る。ボンタンもあります。全国にこれらをPRし、阿久根をもつともつとアピールしてもらいたいですね。

馬見新 私も佐瀬さんと同感です。私は十年近く大阪にいましたが、大阪の道路を阿久根の水産関係の

恒吉 観光面とあわせて、阿久根の特産品であるボンタンですね。このボンタンが阿久根のPRの題材になるんじゃないかと思うのですが、東京、東北の人がボンタンにどのようなイメージを持っているのか、どういうものかよく知らないんです。スイカみたいなイメージでとっていただくと、まさかあの大きな木にぶらさがっているとは思えない。私たちは知っていてもよその人にはよく知られていないのが現状だと思います



馬見新修一さん

寺地正 私もよく宮崎に行くんですが、よその人は宮崎の海岸が

入るんだという観光のまことにしてほしいですね。

ので、このボンタンをもっと大きく広げて宣伝してほしいです。

ボンタンの香りをPR

中面 私も自衛隊に一時入っていたんですが、その時の話ですが



中面 幸人さん

東京の人がボンタンを知らないんですね。ボンタンを食べるのではなく、めずらしきで買っているのがボンタンだと思っております。本当買って今食べてもうまくないですね。

ですから、私はこれからはボンタンの香りを売ったらどうかと思いますが、長崎のザボンには知っているがボンタンは知らない。今後はボンタンの香りを売るのが効果があると思います。

市長 このボンタンですね。最近のボンタンの統計を見てみますと、生産も消費も横ばいなんです。価格もだいたい同じ。ですから今後ボンタンをどういう形でPRするか、これはやはり考えてみる必要があると思うんです。たとえば、市内の旅館の料理でのサラダの盛り付け用の皿にボンタンの中身を取り出した皮でやるとか。いま、中面さんから出されまして香りを売る、これも一つのPRじゃないかと思えますよ。私も一市民から市長車には必ずボンタン



阿久根の特産品、ボンタン

を入れてボンタンのPRに努めてください、との提言を受けて、今市長車にボンタンを入れて香りとボンタンのPRに努めていますよ。(笑い)

漁港を整備拡大して 大きな港町に

司会 よくわかりました。市でも観光には力を入れており、東京のデパートあたりの物産展にも職員を派遣してPRしておりますので、こんご一層力を入れて参りたいと思います。

東吉 それと港の問題ですが、私は名古屋にいたんですが、その時友人が鹿児島へ旅行した。阿久根に行ったら焼酎もうまかったし海の幸もおいしかった。鹿児島にもあんな所があるのかよと聞かされ、本当うれしかったです。



末吉 信雄さん

は漁業のまちです。漁業も市政の大きな柱と思うんです。私の住んでいる深田も大きな入江の港があり、昔は商港として栄えたと聞いておりますが、ここは台風時など避難港としては良港だと思わんですが、将来ここを風之浜、深田、脇本漁民用の大きな漁港にしていくプランはないのでしょうか。

今県内には枕崎、串木野とか大きな港がありますが、これらに負けない大きな港町にしてほしいですね。九州に行けば阿久根がある魚を食べるには阿久根に行けば、というような港町にしてほしいですね。

中村 東シナ海に面した阿久根

市長 港の問題が出ましたけれども、今の阿久根の新港は五十七年度ですべて整備が終了するといふ段階になっておりますので、将来は今の港よりもっとスケールの大きな港にすることで、すでに県との話も済み、国へ計画をあげており、今後積極的に国に働きかけていきたいと考えております。また、深田港は、あそこもどういふ港にするかということでも部内でも検討を重ねており、大まかな絵は出来ています。やはり、陸と

ご異議を
お祈りします

- 寺地 博吉 76 (尻無中) 隆光
- 溝上スズノ 71 (牧内) 正義
- 倉津 シケ 85 (倉津) 長次郎
- 瀬戸口重光 55 (上野) キミ
- 中原キクエ 56 (尾原) 等
- 嶋 直衛 76 (永田上) サキ
- 石澤 竜馬 4 (波留) 義隆
- 西田 實 68 (濁) アイミツ
- 高園 栄蔵 94 (新町) シモ
- 宮本 孝 72 (浜) サツ
- 田島センツル 80 (丸内) 伊利
- 新町 泰宏 9 (高松) 亘良
- 鶴田 フチ 94 (田代下) 純徳
- 松崎 チエ 89 (上野) 康夫
- 寺地ソテイ 80 (尻無下) 美春
- 濱門嘉太郎 74 (尻無下) 丸志
- 下園新太郎 83 (尻無上) 均
- 川畑 末吉 74 (的場) アサノ
- 大田センマツ 87 (尻無上) 盛幸
- 松永休次郎 78 (牛之浜) ソメ
- 坂元 武雄 71 (下村) ヒロ
- 大野 貞恵 66 (上原) ミキ
- 中村 マツ 89 (脇本浜) 邦弘

献血はあなたの健康にも役立ちます
元気な今 献血に協力しましょう

海がともに発展する方策を考えていかなければと思っております。

司会 漁業関係の話が出ました
が農業についてのご意見はありま



水揚げでにぎわう阿久根新港

せんか。

恒吉 私は今、タバコを作っているんですが、増反しようとしても国の施策は減反を指導しているんです。今はタバコ作りも安定しているんですが、将来どうなるか。

中面 私は現在サラリーマンですが、今の農業を見てみますと、農業だけでは食べていけないですね。農業をしながら動機に行き、自分の食べるコメだけを作っている。こういうのが農家の実態だと思います。ですから、私が考えるには、農業を会社組織にしてしまおう。今の兼業農家では田植機とか稲刈機とか買っても、また何年かすれば買い替えずにはいけないですね。本当に食べていくだけの生活しかできない。会社組織にしてしまえば、全部まとめてしまおう。年に一度決算があつて配当をもらおう。そうすれば勤める人は勤めだけに、農業にがんばる人は農業にと、どちらも成り立つし発展すると思えます。

司会 中面さんから農業を全部法人にしてはというご発言がありました。中村さんはプロイラーをやっているわけですが、何か。

中村 そうですね、私はプロイラーをやっているんですが、今の市場はなかなか厳しく、三百円経費にかかったから三百五十円で買つてくれ、このような事が通用し

ないんですね。ですから三百五十円で買うのであれば二百二十円で鳥を生産できるようにコストに重点をおいたプロイラーの経営をや



中村主税さん

っているのが現状ですね。

末吉 阿久根市は、全国一の実エンドウの産地だと思いますし、盛んです。私もよく友人と話をしているんですが、畑をもっと広げて実エンドウ作りをしたいと言っているんですが、しかし、近辺を見れば遊んでいる土地が非常に多い。実エンドウ作りを思い切つてやりたいという人には、市で遊んでいる土地を借り上げて貸付けるという制度はないんですか。

農業拡大に 土地の提供を

寺地正 大川方面にも多いですね。友だちがいうには最近ワラが非常に高くなった。なかなか手に入りにくい。それをカバーするのに草で補っているというんですが、そのつくる土地がないというんですね。結局、稲を作った後は遊んでいるという、畜産の飼料を

榎田さん (阿小)
大下さん (鶴中)
に市長賞

五十六年度

読書感想文コンクール

○市長賞 榎田洋美 (阿小) 大下

和子 (鶴川内中)

○議長賞 池脇重成 (鶴川内中)

橋元美由紀 (大川中)

○教育長賞 正司飛鳥 (大川小)

末吉佐久子 (阿小)

○図書館長賞 すずきひろよし

(阿小)

○伊賞 くら田みか (西目小)

○南日本新聞社賞 八郷登 (単人小)

○特選 張勇夫 (阿小) 榎園広樹

(同) 餅越恵美 (同) 沖吉啓子

(同) 二そのいずみ (鶴川内小)

ます田たかお (同) つる田みどり

(田代小) 山口りょうこ (同)

花本ゆうきく (大川小) 大田唱子

(同) 寺地千恵 (同) 山元みほ

(単人小) 今濱勝美 (同) 平松雅

樹 (脇小) 柴山めぐみ (同) 中村

史子 (同) 山口孝子 (折多小)

餅越真由美 (阿中) 原崎久美子

(三五中) 九塚明子 (田代中)

中野みゆき (同) 尻無浜八千代

(大川中) 中平裕子 (鶴川内中)

○入選 ありたゆき (尾崎小) ほ

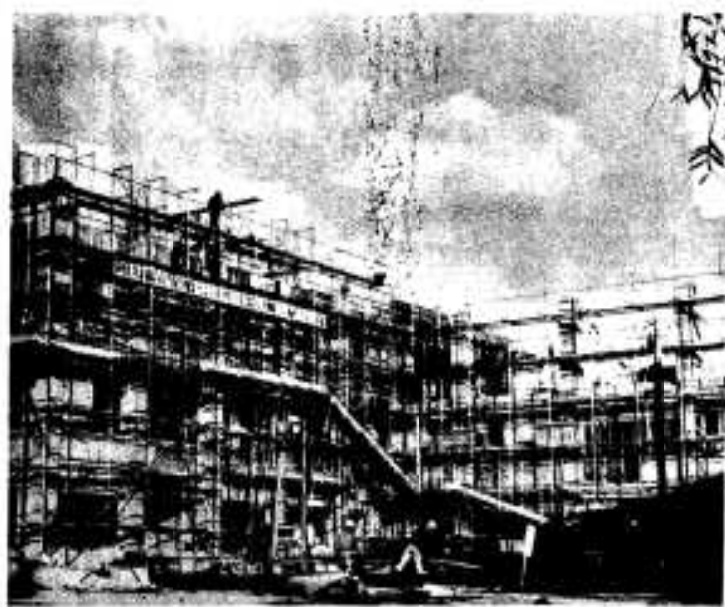
基盤整備で農業の振興

満たすための土地の提供をしても
らえたら。
寺地りつ子 私は農業のことは
よくわかりませんが、やはり
農業が発展しないと、二次産業

三次産業も伸びないし、農業をや
りたい人にはどしどし農業をさせ
る。そういった施策も必要だと思
いますね。

恒吉 それと、地区によって基
盤整備が進んでいない地区もあり
ますね。ま、私が生れて三十年な
るんですが土地の整備がされたの
を覚えていませんね。排水の悪い
所もありますので、市で思い切っ

てやっていたら。
司会 どうも農業については敵
しいご意見のようですが。
市長 やはり、今後の農政のあ
り方は専業、兼業農家をどう育て
るか、このことだと思っらんです



3月完成予定の保健センター、働く婦人の家

冠婚葬祭の簡素化を

田んぼや畑の借りたり貸したりの
利用には農用地高度利用促進事業
という制度もありますので、地区
の担当委員をどしどし利用してい
ただき、この制度を積極的に生か
していただきたい。また基盤整備
の問題は、地域によっては非常に
難しい面もありますので、今後
はお互いの話し合いで、また、市
としてもその地域の実情に合った
基盤整備を進めていく必要がある
と思います。
司会 全般的に市の行政に対し
てのご意見、ご要望はございませ
んか。

中村 私は冠婚葬祭の簡素化を
お願ひしたいですね。昔、私が青
年団で活動していた頃もこの問題
は何回となく話にもあがりました
が、今日全然簡素化されていきな
いですね。逆に華美になってきてい
るのが現状だと思います。とくに
成人式、結婚式がいい例ですね。
成人式もまったくハデになってき
て、着物に何十万円とかけて着飾
ってくる。市の方で段階的に何と
か対策はとれないんですか。
市長 簡素化には私どもも同感
なんです。市の広報でも呼びかけ
はやっているんですが、いまおっ
しやる通り、若者や、主婦、市民

みんなが本当に簡素化しなければ
いけないと、こういう盛り上がり
があればこれは自から改革される
と思うので市民全体の盛りあがり
を期待します。

司会 今年の三月には市民の子
防注射とか、健康診断とか、おく
さま方の妊婦健診をしたりする保
健センターと、働くおっさんの方の
研修をしたり、料理をしたり、レ
クリエーションをしたりするセン
ターが市民会館前に完成しますが
子供を持つ主婦として寺地さん何
かありませんか。

寺地りつ子 そうですね。婦人
の研修の場所ができることは本当
にいいことです。やはり、家に閉
じ込もってないで、積極的に学
習に参加する、このことは家庭の
和にもつながっていくと思います。
それと、子供の遊び場などについ
てはよく考えてくださって、戸柱
にはアスレチックもできましたが、



寺地りつ子さん

市内には子供たちが安心して遊べ
る公園が少ない気がしますが。

鉄道の東側に 通学路の建設

馬見新 私はよく学校へ商用で
行くんですが、最近国道三号の交
通量が多く、西目方面から学校へ
通学してくる生徒たちがいつも交
通事故の危険にさらされているん
ですね。できれば鉄道の東側に通
学路みたいなのを建設してほしい
ですね。そうすれば子供たちも安
心して学校へ行けると思いますが。
市長 幼児をもつ母親は子供が
何の事故もなく健康で育ってほし
いというのが願ひでしょう。児童
公園については、地域的にどこに
設置したらいいのか、ということ
で基本的に調査をしています。国
道の交通量の増加に伴う通学道路
についても、鉄道の東側に道路を
作って、こっちの方を通すべきで
はないかと今計画を進めておりま
す。

公営ギャンブルを 誘致しては

司会 観光、農業、漁業、市全
般についていろいろご意見、ご要
望がありました。最後に一言づ
つ夢でも抱負でもご発言ください。
寺地正 鹿兒島県には公営ギヤ
ンブル場が一方所もないですね。
私は競艇でも競輪でも何でもい
から公営ギャンブルを誘致しては



しいですわ。そうすればホテルもできるし、人口増にもなる。やは



寺地正末さん

りこれからは、若者が定住する魅力あるまちづくりが必要だと思えますので、何か公営キャンパルを誘致したらいかがでしょうか。

姉妹都市をつくり 定期的な交流を図る

佐瀬 姉妹都市をいくつかが設計市の対外的な交流を少しし図つたら、昨年川内市が日中友好の船を出し、国際親善としての非常な成果をあげたと聞いていますので、阿久根市も広い視野に立って国際的に姉妹都市をもうけ、交流を図つたら、そして定期的な留学生の交換、各種文化や体育面での交流など、市民にとってプラスになると思えますが。

馬見新 私は今の湯田んぼを埋めたててあそこをあらゆるスポーツのいちだいページェントを作る

職業訓練校の設置と 企業誘致を積極的に

中面 私はUターンしてきたわけですが、市内にはUターンしてこられた方が多くいらっしゃると思っています。しかし、都会から帰ってきてても、市で受け入れてくれるところがない。また仕事も違ってくるわけですので、再度就職する準備のために、何か職業訓練校みたいなものを作ってほしいですね。それとやはり、若者が定住するために何か働く場所が必要だと思えますので企業誘致には積極的に努力してほしい。

恒吉 私は自分なりの構想ですけれども、希望しますのは市内か



恒吉年春さん

近隣には例を見ないような大きな野球場を建設し、冬期時のプロ野球のキャンプはもちろん、オープン戦、公式戦等を誘致する。そうすれば見物客や観光客を迎え入れられると思うし、あそこは北風を受けず南向きでボカボカと暖かく絶好の場所だと思います。

中村 私は市民の意識というか市民があまり市の行政に対して関心を持っていないのじゃないかと思うのです。ですから、市ではどしどし今日のような市長と語る会などを実施して、市政への要望などどしどし聞き入れ、市政に生かす工夫をしてほしいと思えます。

司会 いろいろの面にわたってご意見や要望、将来の夢などでまじりましたが、まとめとして市長からひとことお願いします。

市長 皆さん方の熱心なご意見を要領なり伺いまして非常にありがたい、また頼もしく思っているところであり、また頼もしく思っているところであり、具体的な問題はありますが、皆さん方は、この三十歳を転機として、大きく発展されるようしっかりと頑張ってください。今日のご意見は素直に受けとめ、皆さん方と今後とも一緒になって努力してまいりたいと思えます。



九州西海岸観光ルートの要、黒之瀬戸大橋

昭和五十七年度を新しい輝かしい年としてお迎えいただき、新しい力でごんばってくださいようお願いいたします。

司会 本日は皆さん長時間に亘り有難うございました。皆さんは阿久根市とともに年輪を重ねて成長される訳でありますので、今後ともお互いに努力し、繁栄、成長していくようにがんばりたいと思えます。

本年は皆さんにとり良い年でありますように祈念いたしまして本日のお会を閉じたいと思えます。どうもありがとうございます。

昔、阿久根の若者は、進取の精神が旺盛で、世界をまたに活躍した偉人が多いと云えます。

今年は大年。鹿がけ回る犬のように元気な阿久根の子供たち。夢、希望を持った十人の子供たちが新春のおたよりが届きましたので紹介します。

学校の先生に挑戦したい



華小 竹原祐子

私は、小さい子供が大好きだ。近所にいる子供を始め小さな子供に親切にしたい。勉強もうんとしておかなければならない。

オルガンや歌などもほりきって練習しよう。また、もつとがんばって、小学校の先生にも挑戦したい。

いつの間にか保育の気分になって、気がついていたらようだ。さあ、がんばるぞ。やさしさを持つ、美しい人間になって、尊敬される人になろう。

医者になって世界を回る



山下小 池之原浩幸

ぼくの夢、それは医者になって世界を回る事です。なぜかというと、お金がなくて、病気で困っている人など、ただでやり

たいからです。だから早く大きくなって医者になり、一人でも多くの人を救いたい。しかし、多くの人を救いたくないので、野球選手になる夢もある。野球選手になって愛の手にかえたいと思う。そして父母に親孝行したい。ぼくにはたくさん夢がある。そのためにスポーツに、勉強にがんばりたい。



プロのサッカーチームをつくりたい



折多小 筒英二

ぼくは、スポーツが好きだ。サッカー、バスケットボールなど、動き回るのが好きだ。今、スポーツ少年団のサッカーに入っている。中学校、高校、大学、大人になってからもつづけたい。

日本には、プロのサッカーがないので、日本にもプロのサッカーチームをつくりたい。そして、外国のチームとも試合をして、日本のサッカーの名を上げたい。

一九八二年は、体づくりからだ。さそく正しい生活をしよう。



歴史に残る人になりたい



臨小 田中清美

私は、三月、中学校へ進む。希望、未知への探検で胸がふくらむ。英語が学べる。部活動もある。読書にも力を注ぎたい。

今年は、八二冊を目標とした。特に伝記を読みたい。歴史があるって、今の世の中があると云えるように、昔の人達は、どんなことをやってきたのか、知りた。だから、たくさん読んで、私も歴史に残るようなことが出来る人間になりたいと思っ。

82年ぼくと、わたしの

夢、希望



やさしい看護婦さんに



鶴川内小 児玉たみ子

私の将来の夢は、看護婦になることです。それは、五年生のころ腹痛で、病院に行った時出会った看護婦さんのやさしさと

仕事ぶりにひかれたからです。でも、看護婦という仕事は、人命にかかわるから、難しいと思います。いろいろな薬の名前も覚えなくてはなりません。外国語でかかれてあるのはなおさら難しそうです。だから八十二年はその第一歩として、勉強に、(特に英語)は、がんばりたいと思います。

人間の生命をのばす方法を考えたい



大川小 大田 健

ぼくは機械が大好きだ。テレビ、ラジオ、ステレオなど小さな物の修理から手がけ、次に飛行機や船、自動車など大きい物の組立てや改良もしていきたい。また、発明もしたい。海水から大量の電力を作る方法を完成したり、人間の生命を三百年ぐらいのばす方法を考案してみたい。さあ、今年科学読み物を多く読もう。その基礎づくりだ。



婦人警官になって子供を守りたい



阿小 松元智子

人一倍小さい私の将来の夢は婦人警官。その夢が実現したら、先ず子供たちを交通事故から守りたい。車の違

反を厳しく取りしまり腰話術も勉強して、子供たちにわかりやすい交通指導をしたい。また、非行少年少女の防止にもつとめ、明るいまちづくりにつくしたい。

婦人警官は、強い身体と精神の持ち主でなければとまらない。八二年は運動をうんとし、体力づくりに励もう。

やさしい先生、それが夢



尾崎小 盛永春代

私は、小さな子供達が好きでたまらない。また、それと同じ様に動物も大好きだ。だから私の小さいころからの夢は、小学校の先生になる事だ。生徒の身になって考え、やさしく、また時にはきびしくこれが私の理想の先生だ。先生には教養が大切で、その基礎は読書である。一九八二年は、小学卒業と中学入学。人生の一つの節目である。うんと読書しよう。

こん虫園をつくるのが夢



田代小 本 浩一

ぼくは、動物やこん虫が大好きだ。だからうさぎ・にわとりなどを、無料で検査をしたりしたい。それから、動物園は今もあるけど、ぼくはこん虫園というのを作りたいと思ってる。そしてそこには、めずらしいこん虫をもってきたりして、たくさんの人に見せてやりたいなあと思っている。そして、北国の虫が南国にきてほしいようぶな、薬品をつくったりしてこん虫を大切にしていきたいと願う。

保育所をつくって子供と遊びたい



西目小 西園理恵

私は、将来は、保育士になりたいと思ってる。そして、思いきり小さい子と遊んでみたい。自分で保育所を建ててみたい。そして、園児

から好かれるやさしい先生になりたい。雨の日でも遊べる室内運動場(床板張りではなく土で作りたい)たくさんある遊具のある広い運動場も作ってみたい。一九八二年は、中学一年だが休みの日などには、小さい子の相手になって遊んであげたい。

三二話題

ふるさとのために十万円
近畿地区阿久根会より届く

近畿地区阿久根会(田代克巳会長)では、このほど阿久根会のレクリエーション大会を大阪城公園で開き、会員の皆様が親睦を深め酒をくみかわし一日楽しく過ごしました。その時何かふるさとのためにできないかという事でカンパを募ったところ十万円が集まりこのほど市に送金されてきました。市ではさっそく図書館に図書を購入して、市民の教養つくり役に立てることにしました。



にぎわった
レクリエーション大会

市民のひろば



スナツプ
ボク、元気
上脇和樹ちゃん(1才4カ月)
(市内本町)

親子で仲よくペツタン、ペツタン
鶴川内児童館でモチつき

市内の鶴川内児童館で十二月十三日、園児と親によるモチつきが行われ、親子のふれあいを楽しめました。
園児たちに、昔ながらのキノトウスによるモチつきを楽しんでもらおうと行ったもので、園の庭で五斗のモチ米が蒸されて、さっそ



親子で楽しくモチつき

若島津「愛和園」を訪問
園生を励ます



園生を励ます若島津関

くモチつき。お父さん、お母さんと一緒にキノを持ちウスに力いっぱい元気に振りおろしてモチをつきました。
できあがったモチは、園児たち

がきれいに手で込めてまろくしていましたが、型もさまざま、初めてのモチつきに大喜びしていました。

郷土出身の人気力士若島津関が十二月二日、ひょっこり臨本の身体障害者療養施設「愛和園」を訪れ、入園者を慰問しました。
大相撲出水場所の機会に同園を訪れたもので、午後六時入園者、職員四十人が若島津関を迎えました。
園に到いた若島津関は、さっそく居室を回り寝たきりのお年寄りや、車イスの身体障害者の方々を見舞い握手をしたり、言葉をかけたりして入園者を励げまわっていました。

牛之浜区Aが優勝

大川校区駅伝大会

第三回大川校区駅伝大会は、十二月十三日校区内から八チーム、百五十人の選手が参加して十七区間二十三キロに熱戦がくりひろげられました。
この結果牛之浜区Aが優勝、二位が場的場区A、三位が中屋敷区でした。

今年も健康で
楽しい家庭を

図書購入費に

20万円を寄付

尾崎の有田さん

市内尾崎の有田佐四郎さん（六二）が、このほど母校の尾崎小学校を訪れ、図書購入にと二十万円を寄付しました。

有田さんは「母校の子どもたちが、本をたくさん読み、多くの知識を身につけてほしい」とこの寄付になったもので、学校ではさっそく図書室に有田コーナーを設け、子供たちに開放しました。



寄付された文庫で勉強する子供たち

ダンスパーティーの

益金を寄付

鹿児島杉の子会阿久根支部（松永秀昭支部長）では、このほどダンスパーティーを開きましたが、この益金の一部を市のために役立ててほしいと寄付をいただきました。

買い物の市民で大盛況
産業祭すつかり定着



にぎわった産業祭

市債よりも安くで奉仕をキヤッチフレーズにした市の産業祭は今年も十九日、二十日の二日間市民会館で行われ、年末年始を控えた市民がどつとくり出し、にぎわいました。

産業祭には、市内で生産される野菜、海産物、肉製品など多数が出品され、市債より二、三割安いとあってどのコーナーも飛ぶように売られていました。

また、実演コーナーや、昔ながらのキネとウスを使つてのもちつき大会も人気を呼び、この二日間七百五十万円を売り上げ、産業祭は大盛況でした。

大平小組合でも

ミニ産業祭

地区の視聴をはかる市街地から六〇離れた、大平地区で十二月五日ミニ産業祭があり山間にセリの声が響き、親睦を深めました。

自分たちで作った製品を品定めしてもらい、これらを全員でセリにつけ、得た益金を地区の活動資金にしようと毎年開いているもので、今年も十二戸からポンタン、野菜、手芸品、竹製品など百三十五点が出品され、小組合長の中村辰夫さん方でセリが行われ十万円を売り上げました。

北薩衛生処理組合
職員採用試験の案内

昭和五十六年度北薩衛生処理組合職員採用試験を次のとおり行います。

▽試験の区分……現業職員と電気技術者

▽採用人員……現業職員（男子）二人、電気技術者（男子）一人。

▽受験資格……昭和五十七年一

月三十一日現在において、本人または家族が一年以上、野田町、高尾野町、阿久根市、出水市に居住している者。

現業職員は、高等学校卒業程度の学力を有する者で、昭和三十二年四月二日以降に生まれた者（本年度卒業見込みを含む）電気技術

者は、これらのほかに電気工事士以上の免許を有するもの。

▽一次試験日、五十七年二月三十一日（即）出水市文化会館

▽申込み受付、一月五日から二十五日（即）まで

その他受験手続について詳しくは、出水市役所総務課へ問い合わせてください。

社協だより

次のかたがたから、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます。

（敬称略）

- 馬見塚愛子（大川島） 田原実樹（川内市） 浜崎強志（浜） 松崎康夫（上野） 平国シズ子（葛野） 下藤均（尻無上） 新町良良（高松） 鶴田純徳（田代下） 西田アイミツ（濁） 浜門義政（尻無下） 寺地隆光（尻無中）
- ☆持志寄付
- 溝口一成
- ビッグアイランド

年賀状で住所録の整理を

阿久根郵便局からのお知らせ

お正月にたくさんの方の年賀状を受け取られたことと思いますが、差出人の住所が転動、転居や住所表示制度の実施等によって変更になっているものがあります。この機会に受け取った年賀状で住所録の整理をしましょう。

なお、住所録に記入する場合に、新しい郵便番号や住所のほかアパート名、棟番号、室番号や、「〇〇様方」（子供さんと同居人等の場合）などまで詳しく正確に記入しておくと便利です。

〈昭和57年度 市県民税申告受付日程表〉

部 落 名	時 間	部 落 名	時 間
6(※)	尻上 表川内 9:30~11:30	25(併)	松ヶ根・笠山 1:30~2:30
	小麦 1:00~3:30		永田下 9:30~11:30
	大川島 *		永田上 1:00~3:30
7(※)	尻中 鈴木段 9:30~11:30	26(大)	古里 9:30~2:00
	南畑 1:00~3:30		大淵川 1:30~3:00
	柳 1:30~3:30		大下 9:30~11:30
8(※)	尻無下 9:30~3:30	27(併)	内田 1:30~3:30
	川畑中 9:30~2:00		瀬之浦上 9:30~11:30
9(併)	飛松 9:00~11:00	28(併)	瀬之浦下 1:00~3:30
11(併)	的場 9:30~3:30		練之尾 9:30~11:30
	落 9:30~11:00	丸内 1:30~3:00	
12(大)	鳥見塚 1:30~2:30	29(併)	深田 9:30~11:30
	仲仁田 長迫 9:30~11:30		脇本 9:30~3:30
			仲仁田 1:30~3:30
13(大)	牛之浜 9:30~3:30	30(併)	折口東 1:30~3:30
	高之口 9:30~3:00		下村 9:00~11:30
14(併)	本之車札 9:30~11:00	31(併)	上原 1:30~3:30
			遠矢 9:00~11:30
18(併)	佐 9:30~2:30	1(併)	山下馬場 1:30~3:30
	木佐本野 9:30~11:00		楊之浦東 9:00~11:00
	宮原 1:30~3:00		脇本馬場 9:30~3:00
19(大)	尾原 9:30~11:30	2(大)	筒田 9:30~11:30
	米次 1:00~3:00		牧内 1:30~3:30
	田代中 9:30~11:30		黒之浜 9:30~3:30
20(大)	田代下 1:00~3:00	3(併)	尾崎 9:30~11:30
	長谷 9:30~10:30		弓木野 1:30~3:00
	上桑 11:00~1:00		東牧内 9:30~10:30
21(併)	下桑 1:30~3:30	4(併)	大 9:30~3:00
	梶 9:30~11:30		大 9:30~3:00
	横手 1:00~3:00		大 9:30~3:00
22(併)	葛野 9:30~11:30	5(併)	大 9:30~3:00
	葛野田 1:00~3:00		大 9:30~3:00
	梶野上 9:30~11:30		大 9:30~3:00
23(併)	梶野下 1:00~3:00	6(併)	大 9:30~3:00
	梶之西 9:30~11:30		大 9:30~3:00
	大 9:30~3:30		大 9:30~3:00
25(併)	小 9:30~11:30	7(併)	大 9:30~3:00
	八 9:30~3:30		大 9:30~3:00
	黒上 9:30~11:30		大 9:30~3:00
26(併)	大 1:00~3:00	8(併)	大 9:30~3:00
			大 9:30~3:00
27(併)	大 9:30~11:30	9(併)	大 9:30~3:00
			大 9:30~11:30
28(併)	大 9:30~11:30	10(併)	大 9:30~3:00
			大 9:30~11:30
29(併)	大 9:30~11:30	11(併)	大 9:30~3:00
			大 9:30~11:30
30(併)	大 9:30~11:30	12(併)	大 9:30~3:00
			大 9:30~11:30
31(併)	大 9:30~11:30	13(併)	大 9:30~3:00
			大 9:30~11:30
32(併)	大 9:30~11:30	14(併)	大 9:30~3:00
			大 9:30~11:30
33(併)	大 9:30~11:30	15(併)	大 9:30~3:00
			大 9:30~11:30
34(併)	大 9:30~11:30	16(併)	大 9:30~3:00
			大 9:30~11:30
35(併)	大 9:30~11:30	17(併)	大 9:30~3:00
			大 9:30~11:30
36(併)	大 9:30~11:30	18(併)	大 9:30~3:00
			大 9:30~11:30

6日から始まっています
市県民税の申告受付

昭和五十七年度で課税される市県民税の申告受付は、別表のよう

昭和三十五年年度に実施した大字

市では、五十七年度市指定給水

行事催し物など
どしどしおよせください

うに市内各地の公民館で行われて

このように市県民税は、今年の

昭和三十五年年度に実施した大字

水道配管工などの

図書館だより

新しい本情報

- 藤沢周平著「へそ曲がり新左」
- 上原義善著「領園と藩貿易(薩摩藩の琉球貿易)」
- 福田常雄著「六十路からの旅立ち(バンクーバー・わが生体実験の日々)」
- 長田正松著「酔こそ健康のもと」
- 水畑道子著「ひらかれたPTA」
- 古森こずえ著「旅立ちとう、いま(こずえ二十歳の青春)」
- 遠藤ケイ著「親父の少年時代」
- 田中美智子著「未婚のあなたに」
- 山下惣一著「ひこばえの歌」
- 深美邪子著「事件に生きた女たち」
- 暮しの手帖社編「一銭五厘の旗」
- 田中澄江著「美しい老いの秘訣」
- 日本社編「雑学おもしろ読本」

昭和五十七年一月十日発行 鹿児島県同友会出版部編集発行